

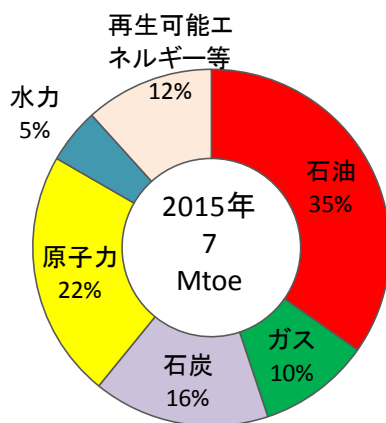
2-23 スロベニア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 7 百万 toe (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 3.16toe (日本の 0.92 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 51%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 12.8 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.1%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 6.19CO₂ 換算 ton (日本の 66.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : なし

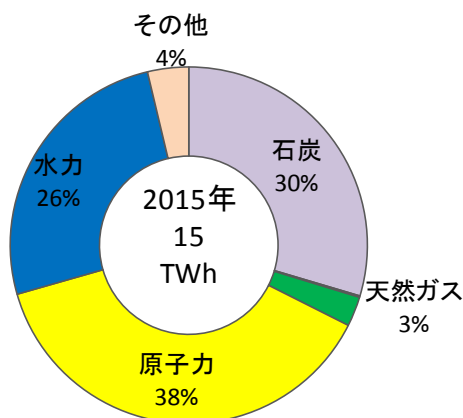
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Slovenia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Slovenia

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 社会基盤省 (MZI: Ministrstvo za Infrastrukturo/Ministry of Infrastructure) 内のエネルギー総局 (Direktorat za energijo/Energy Directorate) が資源・エネルギー政策の策定等を担当。社会基盤省大臣は Peter Gašperšič 氏が、エネルギー総局事務局長は Jože Dimnik 氏が務める。(2016年12月現在)

(2) 基本政策

- エネルギー政策の基本は、2011年6月に発表された「国家エネルギー計画 2010-2030 (NEP: The National Energy Programme of the Republic of Slovenia for the 2010-2030 period: Active Energy Management)」である。同計画では、①戦略的かつ実現可能なエネルギー供給のセキュリティ向上、②経済と社会、また、利用可能でアクセス可能なエネルギーとエネルギーサービスの競争確保、③持続可能な環境を促進させ、エネルギー供給に関する気候変動への緩和措置を実施、④エネルギー供給や環境影響のコストを社会で平等に負担すること (social cohesion)、という4つを目標として掲げている。

(3) 最近の動向

- 2010年7月、「国家再生可能エネルギーアクションプラン (NREAP) 2010-2020」が発表された。2005年時点でスロベニアの最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの割合は16.2%であったが、2020年までに25%を達成することを目標としている。
- 2014年7月、国民議会 (下院) 総選挙の結果、中道左派の新党「ミロ・ツェラル党」が第1党となり、2014年9月にミロ・ツェラル党の Cerar 党首を首相とする3党連立の中道左派政権が発足。
- 2015年7月、欧州委員会は CESEC (中東欧ガス・コネクティビリティ) 会合において、スロバキア、オーストリア、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ギリシャ、クロアチア、イタリア、ハンガリー、マケドニア、モルドバ、セルビア、ウクライナ、スロベニア、ルーマニア、アルバニアの15カ国がガス供給源多様化のためのインフラ整備や市場の統合を目指すことに合意したと発表した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2014年5月6日、安倍首相は Alenka Bratušek スロベニア首相と会談。会談の中で、スマートコミュニティ等経済分野での二国間協力を進展させることで一致。
- 2016年11月25日、新エネルギー・産業技術総合開発機構とスロベニア投資・観光庁による事前調査に基づき、日立製作所 (実証研究責任者として実証、全体取り纏め)、みずほ銀行 (ビジネスモデルの検討) 及びスロベニアの国営送電事業者 ELES は、スロベニアにおけるスマートコミュニティ実証事業の推進について合意した。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Slovenia

(2015年)

| | | |
|--|------------|------------------------------|
| (1) 一次エネルギー供給量 | | 7 Mtoe |
| (2) 一人当たりの一次エネルギー供給 | | 3.16 toe/人 |
| (3) GDP当たりの一次エネルギー供給 | | 0.13 toe/千ドル |
| (4) エネルギー自給率 | | 51 % |
| (5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年) | | 12.8 百万CO ₂ 換算ton |
| (6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年) | | 6.19 CO ₂ 換算ton/人 |
| (7) エネルギー源別構成率 | 石炭 | 16 % |
| | 石油 | 35 % |
| | 天然ガス | 10 % |
| | 原子力 | 22 % |
| | 水力 | 5 % |
| | 再生可能エネルギー等 | 12 % |
| (8) エネルギーの輸入依存度 | | 49 % |
| (9) 石油の輸入依存度 | | 100 % |
| (10) 輸入原油の中東依存度 | | - % (輸入なし) |
| (11) 天然ガスの輸入先 | 第1位 | オーストリア |
| | 第2位 | ロシア |
| | 第3位 | |

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2016, IEA